



ビジネスという躍動

令和6年4月1日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

世界のトップに至ることは、内実において可能である。内実は理解において可能である。

イーロンマスクやスティーブ・ジョブスが、有するのは、理解であり、それが企業と製品を与えるのである。

これらは企業のソフト資産という現実の拡大が、現実を可能とするのである。

これらはアメリカの現実への正しい考察である。それは優れた教育と大学環境において、人材が創出され、彼らが新しい現実の創造を実現しているのである。

これらは優れた知性が、それと等しい現実を与えているのである。

これらは、新しい現実が、優れた知性において与えられているのであり、これらは、それらを与える環境において存在するのである。

これらはビジョンと創造性は、その基盤を要求し現実を可能とするという理解を要求する。それらは必ず知性であり、知性は、学習において与えられるものである。

独創性においては最もこれらを求めるのである。

机上の空論は、現実を与えないが、知性に裏付けされた行動は、現実を可能とするのである。

企業においては、市場への理解、技術の基盤、マーケティングの認識、製品への深い理解が存在するならば、企業経営は万全なのである。

これらはより優れた段階へのステップアップは、その基盤を求めるのである。それらが新規基準における企業経営を可能とできるのである。

